

Lib.

京都産業大学図書館報

v. 30, no. 2 (Oct. 1, 2003)

ホームページに掲載中 <http://www3.kyoto-su.ac.jp/lib/>

本学所蔵 賀茂葵祭行装 / 図より

巻頭言 企業家と図書館の深い関係 佐々木 利廣	1	<連載> 自著を語る	
オズボーン・コレクション復刻版展示にあたって	2	『死と唯物論』	河野 勝彦
		『20世紀のアメリカ体験』	北澤 義之
図書館のとりくみ		『再統一ドイツのナショナリズム』	
<情報の探し方>	4		川合 全弘
LexisNexis Academic (新聞検索) の紹介		『解説法人税法』	小池 和彰
教員文庫寄贈図書一覧		『経営技術の国際移転と人材育成』	
いんぷおめーしょん			植木 真理子
		『防災学ハンドブック』	藤井 健

企業家と図書館の深い関係

図書館長 佐々木 利廣

マイクロソフトの創業者ビル・ゲイツというと、世界の金持ちや世界の情報技術の支配者などマイナスのレッテルを貼られることもあるが、彼が公共図書館と関係が深いことはあまり知られていない。

最近マイクロソフトとアメリカ図書館協会は、ライブラリーオンラインというパートナーシップを締結している。マイクロソフトは、アメリカの低所得地域の公共図書館に対してハードとソフトの両面を寄贈し、さらにコンピューター導入に関する訓練マニュアルの開発をサポートしてきたが、長期的にはこれをアメリカとカナダの公立図書館の半数まで広げていく計画である。

マイクロソフトとアメリカ図書館協会という2つの組織のパートナーシップは、双方にとってメリットがある。もちろんビル・ゲイツの節税につながることや将来のマイクロソフトの需要拡大を見込んでの戦略、という見方も可能であり、社会貢献という慈善の皮をかぶったマーケティングという批判もある。

なぜビル・ゲイツが公共図書館に関心を向けたかについては諸説あるが、一番の理由はアメリカが生んだ偉大な慈善家である鉄鋼王アンドリュー・カーネギーの影響であろう。スコットランド系移民の子であった

カーネギーは 図書館を民衆の大学と呼び、生存中2500以上の図書館を建てたといわれる。若い頃のカーネギーは泥棒成金や金権主義者のレッテルを貼られていたが、人生後半の30年ほどの間に富の大部分を寄付することでイメージを一新し、富裕なままで死ぬ男は不名誉なままで死ぬという名言を残している。

ビル・ゲイツも、「人はたいてい人生の晩年でないと寄付を始めない。私も数年前は慈善活動は60歳からと思っていた。しかし大きな変化をもたらす手がかりがいろいろあることを知った。だからもう待つことをやめた」と述べている。実際マイクロソフトとアメリカ図書館協会とのパートナーシップが締結されたときに、アメリカ図書館協会はビル・ゲイツを21世紀のアンドリュー・カーネギーと称賛している。

公共図書館のルーツは、ベンジャミン・フランクリンがフィラデルフィアに作った会員制図書館であり300年近い歴史がある。米国では図書館は貧しい人の大学と呼ばれ、だれでも平等に必要な知識にアクセスできる場を提供してきた。日本版ベンジャミン・フランクリン、アンドリュー・カーネギー、ビル・ゲイツが日本に現われる日は来るのだろうか。

(ささき としひろ 経営学部教員)



オズボーン・コレクション復刻版展示にあたって

杉本 明

『Kate Greenaway's calendar for 1884』
ほるぷ出版



私がオズボーン・コレクションのことを知ったのは何時とは俄に言い難いが、はっきり意識したのは1979年、ほるぷ出版がこのコレクションの一部を復刻刊行した時である。それまで個人的な好みから絵本を集めていたこともあって、興味を惹かれ2期に渡って出版されたものを全て買い揃えて、以後それらを折りに触れ楽しませてもらってきた。

その後、偶々ではあるが、1595年ロンドンで売られたバラッド『森の中の子供たち』をめぐってその歴史の変遷を研究することになった。このバラッドは絵本としてまた芝居として現在にまで生き残っているのがあるが、絵本の系譜のうちに19世紀3大絵本作家の一人であるランドルフ・



『The babes in the wood』

ほるぷ出版

19世紀後半ヴィクトリア朝の3大挿絵画家はコルデコット、ケイト・グリーンウェイ、ウォルター・クレインであるが、中でも特にコルデコットは極めて人間的情愛に優れているといわれる。今回の展示にあたってこの3者を見比べて頂きたいものである。

さて、オズボーン・コレクションは、イギリス、ダービシャー州立図書館長であったエドガー・オズボーンが個人的に集めていた、1910年以前イギリス発行となる2000冊ほどの本の散逸を恐れ、妻の死を契機に、かつて訪問し、その運営方法に感銘を覚えていた児童部「少年少女の家」を持つ、カナダはトロント公共図書館に1949年に寄贈したものがその始まりである。その条件の一つに蔵書目録の出版という項目があったが、そのカタログ第1巻を出すのに3年を費やしたという。また寄贈にあたっての別の条件に本の追加という項目があって、このため蔵書数は1978年には2万冊を超えるに至った。イギリス、オックスフォード大学ボードリアン図書館には1946年から収集を始め、2万冊を

誇るオビー・コレクションがあるが、児童書研究に関する重要度ではオズボーン・コレクションは些かもひけをとらないものであるといっている。

現在このコレクションの内容はそれこそ様々であり、聖書関係は勿論、歴史伝説、教育、遊びや娯楽、歌、名所見物、物語など、およそ印刷された児童書のあらゆる分野に及んでいるといえる。従って今回展示されているのは、そのほんの一部を抜粋して復刻したものに過ぎないのであるが、それでも目移りがして、とてもこの一冊と推薦できるものを特定することは不可能である。あえていえば、19世紀前半の絵本の大半が手で色を入れていたのに対し、エドモンド・エヴァンズの飛躍的な色刷り印刷改良を見た、その後に現れる19世紀最後の25年間の絵本を楽しむことをお勧めする。この頃は同時に絵本が大型化する時代でもあった。絵本がその色彩とともに花のように大きく開いたのである。勿論、もっと初期の『絵文字パイブル』(1785)などに歴史的興味を持って見るのも良いだろう。ニューベリーやダートン出版の作品も個人的には勧めてみたい気がする。

とにかく楽しんでいただきたい。そしてこれらの絵本を現実に親から手渡されて、読み、眺めて楽しんだ当時の子どもたちの幸せなひと時を一緒に体験していただきたいものである。それは専ら子どもらのみの楽しい時間、楽しい空間であっただけではなかったろう、そこには親の喜びもあつたらうし、家庭の輝きも平凡ながらあつたらうと思われる。そして今これを眺める学生諸君も、遠ざかりゆく子ども時代を思い出し、もう一度味わって欲しい。何故なら、どんな大人にもその中に子供が一人いるからだ。

(すぎもと あきら 文化学部教員)



『Cinderella』 ほるぷ出版



<図書館のとりくみ>

これまで、図書館で行われている各種プロジェクト及び委員会の取り組みを利用者に広く紹介します。

図書館における展示について

本学図書館が所蔵する資料の中には、日頃利用者の目に触れる機会が少ない、且つ珍しい資料が沢山あります。今年度より、これらの資料を春・秋学期各1回と適宜タイムリーな話題に合わせた資料を、図書館パソコン室展示スペースに展示し、披露しています。

この資料展示の企画立案、資料の選定、説明パネル作成、広報、設営等展示の全てを館内プロジェクト・チームの一つ、展示企画会議が行っています。

教職員の図書コレクション・写真・絵画作品等で、図書館において公開するに相応しいものがあれば展示いたしますので、随時、図書館にご相談下さい。

「絵巻の世界」展（6月2日～6月30日）

絵巻は、紙や絹布（けんぷ）を何十枚も横に貼り継いだ巻物に、物語・説話・縁起・伝記などの物語性のある内容を、絵と詞書（ことばがき）で表現したもので、絵巻物ともよばれています。絵巻は『源氏物語絵巻』や『伴大納言（ばんだいなごん）絵詞』等の鑑賞的絵巻と『地獄草紙』『餓鬼草紙』等の宗教的絵巻に大別され、我が国の古代・中世の風俗や生活を知る上での資料としても貴重な文献です。今回は、重要文化財・国宝に指定されている特に著名な絵巻の複製15点を解説と共に展示しました。

「祇園祭」展（7月2日～8月2日）

『祇園祭山鉾絵図』（京都名所行事絵図刊行会、1985年）は、1枚が高さ65cmの美しい絵図集です。祇園祭の開催期間にあわせてこの資料を紹介し、祇園祭に関する知識や興味を深めていただくために企画しました。「菊水鉾」「鯉山」など、装飾品が華やかな山鉾の絵図13点を選び、各山鉾の名前の由来や特徴、山と鉾の違い、祇園祭の概要、祇園祭の主な行事日程の解説と共に展示しました。

加えて、辻井芳樹理学部教授のご協力によりお稚児さんの美しい写真とビデオを今回披露させていただき、図書館員持ち寄りの団扇、山鉾のミニチュア、土鈴、粽など、祇園祭に欠かせないアイテム共々併せ、視覚的に立体感のある展示となりました。また、配布資料として、図書館所蔵の「祇園祭に関する資料一覧」を用意し自由に持ち帰っていただきました。

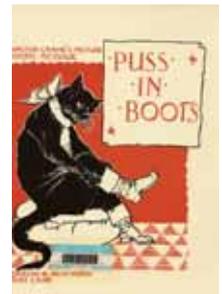
7月10日～17日の昼休みには、図書館ホールで祇園祭紹介ビデオを上映し、「貴重な珍しい映像を見ることができ、面白かった」といった感想を聞くことができました。



「オズボーン・コレクション」展

（11月5日～11月29日）於：図書館1階パソコン室
ほるぷ出版が刊行した「復刻世界の絵本館：オズボーン・コレクション（The Osborne Collection of Early Children's Books）」は、1910年以前に、イギリスで出版された児童書のコレクションです。

イギリスの図書館員、エドガー・オズボーン氏がトロント公共図書館に寄贈した約2,000冊の絵本がコレクションのはじまりです。その後、いくつかのコレクションが組み込まれ、現在20,000冊以上あります。日本で復刻されたのは、世界でよく知られた「長靴をはいた猫」「シンデレラ」



『Puss in boots』

ほるぷ出版「おとぎの"アリス"」などの絵本が中心です。

杉本明文化学部教授がお持ちの貴重な絵本（原本）も今回出展します。お楽しみに！

（図書館展示企画会議）



「祇園祭」展より

LexisNexis Academicの紹介

概要は導入後Lib.29巻1号で紹介いたしました。今回は世界各国の新聞、雑誌、通信記事、ニュースレター、テレビの放送内容など主に英語で書かれたものを収録する「News」分野の検索の仕方をご紹介します。

検索方法 [1] Quick News Search

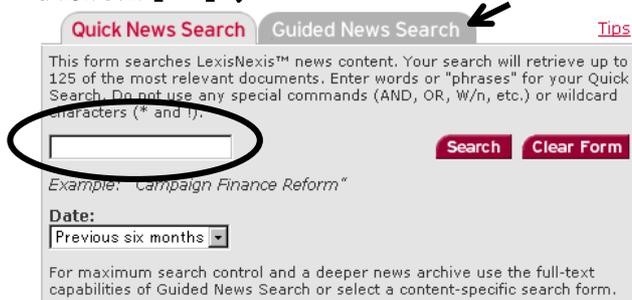


図1 Quick News Search画面

図1の にキーワードを入力し、**Search** をクリックします。「Date」では最近2年間～今日までを選択できます。

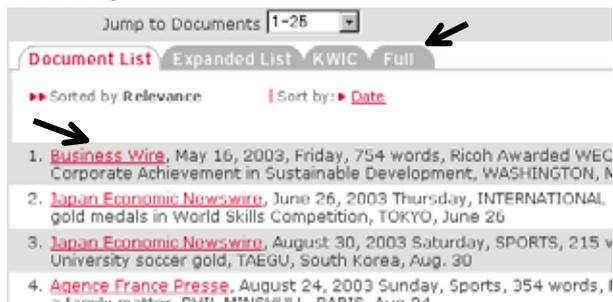


図2 検索結果画面

検索結果画面では収録新聞紙名、発行日、記事の長さ、見出し、著者等が表示されます。表示順は日付又は、適合率で切り替える事ができます。

本文を画面上に表示させるときは図2の **Document List** をクリックします。

検索方法 [2] Guided News Search

Guided News Searchは「Step One」から「Step Five」までの項目を細かく検索条件を指定でき、効率よく検索ができます。図1の **Guided News Search** をクリックすると、検索画面が表示されます。

また、「Source List」を利用すると収録新聞リストを表示できます。

学内の端末から気軽に世界各国の新聞を覗き見る事ができます。ご利用ください。

* 図書館内での利用受けは、3階レファレンスカウンターです。

アクセス方法

図書館ホームページの検索ツールメニューより「電子ジャーナル・データベース」を選択後、表示されたリストより、「LexisNexis Academic」を選択します。

教員文庫寄贈図書一覧

寄贈順 (~9/30)

- 筒井 清子先生 (名誉教授)
グローバル化と平等雇用 学文社 2003
- 川越 いつえ先生 (外国語学部)
英語の音声科学 大修館書店 1999
- 柴田 信子先生 (外国語学部)
21世紀のロシア語 大学書林 2003
- 並松 信久先生 (経済学部)
報徳思想と中国文化 学苑出版社 2003
- 宮内 侑子先生 (名誉教授)
ラフォルグはアンチ・フェミニストか 青山社2003
- 粕谷 俊樹先生 (外国語学部)
インドネシアを歩く 郁朋社 2003
スダ・過ぎし日の夢 めこん 1987
インドネシア：伝統文化の旅 穂高書店 1992
- 川合 全弘先生 (法学部)
再統一ドイツのナショナリズム ミネルヴァ書房 2003
- 伊藤 正美先生 (理学部)
Words, languages and combinatorics,
World Scientific 2003
- 植木 真理子先生 (経営学部)
経営技術の国際移転と人材育成 文眞堂 2002

いんぷおめーしょん

👉 秋学期図書館利用教育の実施について

・今年度から、法学部1年次生対象のプレップセミナー(25クラス)の授業の1コマで「法学情報の探し方」についてガイダンスを実施します。実施概要は以下のとおりです。

日程：10月6日(月)～20日(月)

内容： 法学情報の探し方(説明/図書館ホール)

雑誌・新聞記事・判例の探し方

(検索実習 / パソコン室)

雑誌・参考図書紹介

(館内案内 / 2・3階)

時間：90分

・ゼミクラス対象の文献探索ガイダンスも随時受け付けています。卒論やレポート執筆、ゼミの発表などに必要なテーマ別の文献探索法やデータベースやインターネットの検索実習を行います。

問い合わせは参考係(内線2245)まで。

発行 京都産業大学図書館

所在地 〒603-8555 京都市北区上賀茂本山

電話 (075)705-1446